

「ようこそ！動物園のうらがわへ」編

タイトル：ようこそ！動物園のうらがわへ

推奨学年：低学年

対象教科：生活科、総合学習、理科など

教材観・児童観・指導観

本事業は千葉市内の小学校から毎年度約 50 校・3000 名が参加している。過去のアンケートから、市内小学校に在籍する児童は「動物園やそこで働く職員の仕事内容に興味」があり、「普段とは異なる授業により、特別感を味わい、刺激を受けている」ことが分かっている。動物公園職員によるオンライン授業を実施し、児童が校外学習や各家庭で動物園を訪れた際に新たな視点を獲得し、動物園の本質的な一面にふれ、職務内容への興味も湧いたなどの感想が得られたことから、本事業は動物園への興味関心を高める効果があると考えられる。

授業目的

動物園の役割を知り、動物や周辺環境と自身の接点に興味をもつ。

- 校外学習の事前学習として→動物園を観覧する際の視点を増やす。
- 校外学習の事後学習として→体験と結びつく知識を共有し、思考を促す。

授業概要

飼育員のお仕事を題材に、動物園の役割や動物と人の関わりに着目します。飼育員にしか撮影できない動画をふんだんに使ったプログラムです。

指導計画

	授業の流れ	児童の反応
導入 (5分)	・講師自己紹介 ・動物公園の紹介や飼育員の仕事の紹介 「どんなお仕事をしていると思う？」	「どうぶつとふれあっている！」「えさをあげる、おそうじをする」
展開1 どんな 仕事？ (20分)	・ゾウの飼育担当者の一日を動画で紹介 ・時折、内容に関連するクイズを出題 →ゾウという動物に対して飼育員が何を考え、どのような仕事をしているか解説	「餌をこんなに食べるの？重たそう」 「おうちが大きいと大変だね」
展開2 動物園 の目標	・野生のゾウの現状、その原因を紹介 →なにを目指して仕事をしているか解説 ・野生化で危機的状況にある動物に対し、動	「見られなくなるの？」 「動物園ってお世話をするだけじゃないんだね」

(10分)	物園がどのような取り組みをしているか紹介	
まとめ (5分)	・動物園にできること以外に、私たちにできることはあるだろうか？発問	「なにができるかな」 「ポイ捨てしない！」
質疑応答 (10分)	・ZOOMの挙手機能を使って講師と各学級で会話し、授業中に出た疑問の解消 ・動物園や仕事内容についての質問にも対応	「一番お世話が大変な動物はなんですか？」 「なんで飼育員になったの？」

評価の観点

- ① 講師からの発問に対し、自らの考えを表現する（学びに向かう力・人間性）
- ② 動物や環境保全のために、自身にできることを模索する（思考・判断・表現）

板書計画

どうぶつえん しゅういん
動物園の飼育員は

しごと
どんなお仕事をしているの？



どうぶつえん しごと
動物園のお仕事は

つなぐ 	しらべる 	つたえる
---------	----------	----------